

編集後記

▽『禅研究所紀要』第四十一号をお届けします。

▽本年度の研究会は、駒澤大学教授の廣瀬良弘先生をお迎えして、「曹洞宗の展開と東南海大地震」をテーマにお話しいただきました。曹洞宗が一万四千家寺を抱える大教団に発展した要因について、様々な事例を紹介しながら解説していただきました。講演会は、国際日本文化センター所長の小松和彦先生に「見えない「ものけ」を描く―鬼・妖怪・幽霊をめぐる―」という演題でご講演を賜りました。鬼や妖怪といった目には見えないものけを、日本人がどのように描いてきたかということを通じて、多様な妖怪文化についてお話しいただきました。両先生に感謝申し上げます。

▽本号には、小松先生のご講演の内容を掲載しました。また、大学院のゼミにおける成果二編を掲載することができました。その外、若手の諸先生から数編の投稿をいただきました。ご執筆いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

▽禅研究所のウェブサイトを(<http://zenken-achi-gakun.ac.jp>)をリニューアルしました。研究所の活動に関わる様々な情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

▽口絵の大雄宝殿の写真は、九月に実施した参禅会研修旅行で訪れた、シンガポールの蓮山雙林寺で撮影したものです。この建物は、二層の屋根の上半部分が福建省福州様式、下半部分が同省の泉州様式の二つの異なった様式を持つ「重檐歇山式」と呼ばれる特徴的なものです。

▽本年度、当研究所に武藤明範研究員がスタッフに加わりました。新たなスタッフが加わるのは実に十五年ぶりのことです。活躍を期待します。

▽本号の刊行にあたり、ご尽力いただきました関係各位に、心よりお礼申し上げます。
(編集委員 河合泰弘記)

禅研究所紀要(第四十一号)

平成二五年三月一六日 印刷 (非売品)
平成二五年三月三一日 発行

発行責任者 岡島秀隆

発行所 愛知学院大学禅研究所

愛知県日進市岩崎町阿良池二
電話(〇五六)七三一―一一代
郵便番号 四七〇一九五

印刷所

株式会社 あるむ

名古屋市中区千代田三―一二
電話(〇五)三三三―〇八六一
郵便番号 四六〇一〇〇二二